



2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年9月11日

上場会社名 ジャパンM&Aソリューション株式会社 上場取引所 東
コード番号 9236 URL <https://jpmas.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三橋透
問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 小坂竜義 (TEL) 03(6261)0403
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第3四半期の業績(2024年11月1日~2025年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第3四半期	451	11.9	△78	—	△73	—	△51	—
2024年10月期第3四半期	403	—	△18	—	△18	—	△13	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	△33.80	—
2024年10月期第3四半期	△8.86	—

- (注) 1. 当社は、2023年10月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 2024年10月期第3四半期及び2025年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第3四半期	657	612	91.5
2024年10月期	770	702	90.8

(参考) 自己資本 2025年10月期第3四半期 601百万円 2024年10月期 699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の業績予想(2024年11月1日~2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	990	64.5	118	—	118	—	76	—	51.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年10月期3Q	1,519,300株	2024年10月期	1,503,300株
2025年10月期3Q	40,695株	2024年10月期	31株
2025年10月期3Q	1,510,316株	2024年10月期3Q	1,474,834株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手について)

決算説明資料は、2025年9月11日にT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の好調持続、企業の強い設備投資意欲などを背景に、景気は緩やかな回復を続けてきました。しかし、7月には与党が衆参両院で過半数を失うに至り、政策の先行き不透明感が増えています。また、米国の関税政策が世界経済を悪化させ、米国自身にインフレをもたらす懸念があり、中国経済の停滞や引き続き地政学リスクも相まって、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

後継者不在は依然として深刻な課題です。株式会社帝国データバンクが2024年に実施した調査によると、全国の経営者の後継者不在率は52.1%に上ります。これは、調査開始以降で最も低い数値ではあるものの、依然として半数以上の企業が後継者を見つけれられていない状況を示しています。特に経営者の年齢が50代・60代の企業では後継者不在率が悪化しており、今後も事業承継を目的としたM&Aの需要は高い水準で推移するものと見られます。

一方、M&A市場では、中小企業庁の「中小M&A推進計画」によってM&A支援機関の登録制度の創設、官民が連携した自主規制団体である「一般社団法人M&A仲介協会（現 一般社団法人M&A支援機関協会）」の創設等、中小企業経営者が安心して相談できるようトラブル防止の強化を行っております。

このような事業環境下で、当社はM&Aニーズの発掘を強化するため、金融機関や会計事務所といった提携先の新規開拓に積極的に取り組みました。さらに、提携先との連携を深めるため、研修会や勉強会を継続的に実施し、関係強化に努めています。また、事業の利益率改善を図るべく「DRM事業推進室」を設置し、経営体制の強化も図りました。これらの施策を通じて、当社は社会の課題解決に貢献し、持続的な成長を目指します。

当第3四半期累計期間においてM&Aアドバイザーは34名（前年同期は32名）になり、当社の重要指標である当第3四半期累計期間の成約組数は53組（前年同期は41組）となりました。

結果として、当第3四半期累計期間における売上高は451,747千円（前年同期比11.9%増）、営業損失は78,185千円（前年同期は営業損失18,836千円）、経常損失は73,505千円（前年同期は経常損失18,833千円）、四半期純損失は51,042千円（前年同期は四半期純損失13,067千円）となっております。

なお、当社は、M&Aアドバイザー事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ135,712千円減少し、552,524千円となりました。これは主として、売掛金が5,500千円増加したものの、現金及び預金が118,438千円、未収還付法人税等が23,275千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べ22,301千円増加し、104,814千円となりました。これは主として繰延税金資産が22,507千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ23,409千円減少し、44,578千円となりました。これは主として、賞与引当金が5,670千円、未払金が4,508千円増加したものの、未払費用が29,446千円、買掛金が9,400千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ90,001千円減少し、612,759千円となりました。これは主として、新株予約権の行使に伴う新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,850千円増加し、新株予約権が8,263千円増加したものの、自己株式を56,921千円取得し、四半期純損失の計上により利益剰余金が51,042千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、2024年12月13日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	649,883	531,444
売掛金	550	6,050
前渡金	1,540	2,469
前払費用	7,174	8,255
預け金	-	1,800
未収還付法人税等	25,647	2,372
その他	3,442	132
流動資産合計	688,237	552,524
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,404	12,404
減価償却累計額	△1,880	△2,557
建物附属設備 (純額)	10,523	9,846
工具、器具及び備品	5,538	7,130
減価償却累計額	△4,495	△5,183
工具、器具及び備品 (純額)	1,042	1,947
有形固定資産合計	11,566	11,793
投資その他の資産		
投資有価証券	500	500
破産更生債権等	110	-
繰延税金資産	20,409	42,916
敷金	40,024	39,590
その他	10,013	10,013
貸倒引当金	△110	-
投資その他の資産合計	70,946	93,020
固定資産合計	82,512	104,814
資産合計	770,749	657,338

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,138	1,738
未払金	5,044	9,552
未払費用	41,133	11,687
未払法人税等	1,790	-
契約負債	3,371	4,760
預り金	5,510	5,782
賞与引当金	-	5,670
その他	-	5,388
流動負債合計	67,988	44,578
負債合計	67,988	44,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	258,921	263,771
資本剰余金		
資本準備金	254,621	259,471
資本剰余金合計	254,621	259,471
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	186,222	135,179
利益剰余金合計	186,222	135,179
自己株式	△141	△57,063
株主資本合計	699,623	601,359
新株予約権	3,137	11,400
純資産合計	702,761	612,759
負債純資産合計	770,749	657,338

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
売上高	403,827	451,747
売上原価	282,157	349,655
売上総利益	121,670	102,092
販売費及び一般管理費	140,506	180,278
営業損失(△)	△18,836	△78,185
営業外収益		
受取利息	2	290
新株予約権戻入益	-	4,392
その他	-	167
営業外収益合計	2	4,850
営業外費用		
支払手数料	-	170
営業外費用合計	-	170
経常損失(△)	△18,833	△73,505
税引前四半期純損失(△)	△18,833	△73,505
法人税等	△5,766	△22,462
四半期純損失(△)	△13,067	△51,042

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はM&Aアドバイザー事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	913 千円	1,365 千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。